

応援してくださっている法人・団体の皆様

多くの法人・団体の皆様からの活動資金や食品等の物資によってこの活動は支えられています。



寄付のご案内

法人／団体の方

当プロジェクトへの寄付は、下記の3つの方法より行うことができます。継続したご寄付の場合「プロジェクトパートナー※」として特典がございます。

継続的な支援

毎月5,000円からの継続寄付（口座振替）

1回の支援

振込での寄付（銀行振込）

シンカブルからの寄付

クレジット・Amazon Pay・ネットバンキング

※特典として、活動報告書の送付、ロゴ使用权、WEBサイトへのバナー掲載、社名記載などがございます。詳細はお問い合わせください。

※Syncable（シンカブル）は、個人と非営利団体を繋ぐ、寄付のプラットフォームサービスです。

個人の方

当プロジェクトへの寄付は、下記の3つの方法より行うことができます。

シンカブルからの寄付

クレジット・Amazon Pay・ネットバンキング

銀行振込での寄付

振込での寄付（銀行振込）

募金箱で寄付

店頭募金箱からの、直接の寄付

子ども達の可能性を拓ける「経験」をご提供ください

企業様の CSR 活動を子ども食堂へお繋ぎします

例：

- 企業様の工場見学に子ども達をご招待
- スポーツ選手たちとの交流イベント
- 海外の方と英語で交流
- AI ツールを子ども達に教えてくれる方
- お料理と一緒に作ってくれる方



公式サイト



寄付に関するお問い合わせ

Tel. **024-945-0369** 受付時間 平日（月～金曜）9:00～17:00
Mail. happychild-p@aikuen.or.jp 郡山ハッピーチャイルドプロジェクト事務局 宛

あさかホスピタルグループ
社会福祉法人 安積愛育園
〒963-0102
福島県郡山市安積町笹川字経坦52
（総合児童発達支援センターアルバ内）



2023年度事業報告書

代表メッセージ

2022年10月から活動をした「郡山ハッピーチャイルドプロジェクト」は内容も拡充し今回初めて「事業報告書」という形で皆様にご報告させていただきます。改めて、日頃のご支援、ご協力を頂いている多くの企業や個人の皆様へ深く御礼を申し上げます。

郡山ハッピーチャイルドプロジェクトは発足1年半を経過しますが、現時点で51社の地元企業のご協力を頂き、31箇所子ども食堂の活動を応援することができています。最近、個人の方々からは是非協力したいというお申し出も増えて来て、地域を愛する企業や地域の皆様の思いを繋ぐ仕組みとして、徐々にネットワークが広がり、根付いてきたことを実感し、大変嬉しく思います。また一方では、年に2回開催するフードパントリーで申込受付をすると直ぐに予定数に達してしまう状況や、食材を受け取りに来ることの出来ないご家庭や子ども達がいる現状が

あります。誰も取り残されない社会の実現にはまだまだやるべきことや課題が多いと感じています。私どもは、この活動を通じ、地域の子どもの事を思い、誰かの役に立ちたいと考え、困難を抱える人々への理解と機会を下さる皆様の温かい心に触れ、人と人が繋がることの素晴らしさを実感し、沢山の勇気を頂き、本当に多くのことを学ばせて頂いています。

今後益々このネットワークが定着し、社会貢献という範囲を超え、この地域が、皆様の想いと共に、一歩でも、誰もが幸せに胸を張って生きる共生社会の実現に近づいていければと思います。



郡山ハッピーチャイルドプロジェクト
代表 佐久間 啓

2023年度の総括

全国の子ども食堂の数は9,100か所を越え公立中学校とほぼ同数となり、地域を支える「社会インフラ」として注目されています。

また、現在の子ども食堂は、食事提供だけでなく学習や体験、交流、居場所づくり等、活動は多様化し利用対象も子どもに限らず地域の方々やお年寄りも巻き込んだコミュニティとなっている団体もあります。2022年10月に設立した当プロジェクトは、子ども食堂を運営する皆さんと支援企業の皆様のご協力により支援の輪とネットワークを拓き、子ども達を地域で守り、育てるために活動を推進しています。登録団体数は19から31団体に増加し、郡山市以外の市町村含め広域的に多くの子ども食堂へ食材支援をしており、最近では寄付食材が足りない状況も

ある程度です。

子育て家庭に好評のフードパントリーは今年度2回開催し、1箱10kg以上の食材を508世帯へ配布しました。

この他に、皆様のご支援を確実に子ども達へ還元する基準として年度の寄付金総額の50%を子ども食堂へ食材として配布する事にし、1回目の配布は約6トンの米を各団体へお届けしました。ヨークベニマル様のフードドライブ事業については5月から開始し、現在は市内13か所にて14団体が受取りを行っています。

子ども食堂支援を通じて、沢山の支援者と繋がり、子どもを応援するネットワークが日々広がっていくことを実感しています。今後とも皆様からの支援をしっかりと子ども達にお届けしていきたいと思っております。

事務局 一同

発行2024年6月

今年度も、たくさんの応援・支援をありがとうございました

「ひとりじゃないよ。
みんなで過ごそう。」



寄付食材配布事業

770箱 2022 355団体 / 2023 415団体
配布団体数 / 現在、郡山周辺市町村の子ども食堂30団体以上へお声掛け

食材提供

5,204箱 2,507箱【2022】 / 2,697箱【2023】
配布箱数

158箱 29か所72箱【2022】 / 27か所86箱【2023】
郡山市内の放課後児童クラブ

ご支援

2022 21団体 / 2023.1 47団体 / 2024.3 51団体 / 7名
支援企業数 個人

2022 450万円 / 2023 825万円 / 8企業 65店舗
寄付金総額 募金箱設置企業



情報交換会(お茶会)開催



郡山市子ども食堂ネットワーク加盟の子ども食堂が日々の様子や悩み等を共有しながら、より良い子ども食堂の運営や、協力・連携に向け情報交換をしたいと思えます。支援企業様にもご参加いただき、必要な支援をお伝えしたり、子ども達の様子をお知らせする機会を設けています。

事例 参加団体数 6 参加企業様 2 参加団体数 14 参加企業様 3
2023.7.5 実施 2023.11.30 実施

フードドライブ連携



(株)ヨークベニマル様が各店内にて「フードドライブ」事業を開始しています。地域の皆様に参加する企画として、地域の皆様からご提供いただいた食品を店舗内の専用スペースを活用してボックスに回収、近隣の子ども食堂様へ提供しています。その橋渡しを当プロジェクトが担っております。

合計 1944.5 kg 2023.6~ 2023.6~2024.3末 ~2024.3

- フードドライブ開始
- 郡山市内2店舗にて実施
- 子ども食堂7団体が参加・受取り
- 実施店舗拡大
- 現在9店舗で実施
- 子ども食堂11団体が参加・受取り

2023年度収支報告について

当事業も2年目を迎え、協賛いただいた個人企業様も増え、800万円超の寄付額が集まりました。また各子ども食堂への食材配布を2回に分けて実施することとし、今年度においては約200万円の配布を実施することができました。その他、補助金を活用し、当事業のデータベース構築や物品整備等を行っています。次年度においても今年度の繰越金を元に第2回目の食材配布を行う他、地域へのさらなる周知を図るための広報活動を計画しております。



約200万円分のお米配布

事業収入

寄付金収入	7,571,350	58件	個人/企業
募金箱による寄付	686,909	8企業	65店舗
補助金収入	761,000	福島県子どもの居場所づくり補助金	
前年度繰越金	1,322,550		
収入計	10,341,809		

事業支出

食材費	2,006,790	2023年度第1回配布
広報費	105,000	活動報告書等
消耗品費	304,174	台秤・消耗品等
業務委託費	792,000	システム導入委託費
通信費	127,378	切手・通信費等
その他	137,965	会議費等
事務局経費	2,395,202	
翌年度繰越金	4,473,300	
支出計	10,341,809	

フードパントリー

当初、コロナ禍で大変な子育て家庭を応援したいと開始しました。企業様からの寄付食材やロス食品を募集し子育て家庭を対象に無償で配布するSDGs達成に向けた取り組みです。

第1回 協力企業様 18社 / 計 175世帯に配布
2020.11.23 / 12.6 実施(配達含む)

第2回 協力企業様 20社 / 計 240世帯に配布
2022.7.10 実施

第3回 協力企業様 21社 / 計 274世帯に配布
2023.7.22 実施

第4回 協力企業様 20社 / 計 234世帯に配布
2023.11.23 実施

《宅食事業》の必要性

～フードパントリーの活動から～

子育て家庭を対象に、企業様からの寄付食材を無料で配布するフードパントリーではコロナ禍の2020年から4回実施し郡山市周辺市町村の923世帯へ寄付食材を配布しました。配布したご家庭からのアンケートに、様々なご事情により世帯収入が制限され、定期的な食品支援の必要があるご家庭が一定数いることが分かってきました。

新規事業



郡山市こどもまつりへの参加



2024年5月5日(日)、AGCエレクトロニクス郡山カルチャーパークにて第59回郡山市こどもまつりが開催されました。そこでは、郡山市子ども食堂ネットワークブースの出店があり事務局はそのイベントのお手伝いをしてきました。当日は快晴となり45,000人が来場、熱気あふれるイベントとなりました。また、400名の方にアンケートをいただくことで子ども食堂の活動を市民のみならずへ周知する大変有意義な時間となりました。

システムの導入



寄付食品の在庫管理と子ども食堂からのニーズ集約と整理、仕分けと配布調整の効率化に向けて、「福島県子どもの居場所づくり支援事業補助金」を活用し事務局業務のシステム化に取り組みました。今後の正式運用に向けて準備を進めています。

1 寄付食材の配布拡充とフードパントリーの継続

- より多くの子ども食堂へ寄付食材を配布できるように支援企業様を増やします。またシステム導入し食材配布の効率化を目指します。
- 企業様からのフードロス食材や寄付食材を募集し、無償で配布することにより、子どもとそのご家庭の家事経済面などの負担軽減・家庭内での楽しみや笑顔が増えるひとときを提供します。

2 広報活動

- 郡山ハッピーチャイルドプロジェクトの理解促進・パートナー企業様の募集と支援拡充のため、各種メディアへの情報発信更新作業、活動報告書の作成・配布、ロゴ管理等を行います。

4 地域活性化事業

情報交換会、食材の配送事業、企業内フードドライブサポート等

- 子ども食堂やこどもの居場所・食支援などを取り巻く環境への広域的な取り組みの発信、企業主体の活動のサポート等包括的なアプローチを行います。(例:地域密着型のまちづくり・地域活性化、団体と企業連携、社内CSR活動のサポート)

3 宅食事業の実施

- 行政と連携し、潜在的な困窮世帯や食支援を必要とするご家庭を対象に個別の宅食支援を行います(新規事業)。

その他の取り組み